

## にしのみやデジタルアーカイブ始動 ～インターネットによる収蔵資料公開の取組み～

笠井今日子（当館学芸員）

### はじめに

平成29年（2017）7月19日、西宮市が保有する歴史資料等のデジタルデータを検索・閲覧するためのウェブサイト「にしのみやデジタルアーカイブ」（<https://archives.nishi.or.jp/>）が開設された。ウェブサイトアクセスすることで、誰もが「いつでも・どこでも・自由に」データを手にし、利用できることを理念とし、画像データ・書誌データ等のコンテンツをオープンデータとして提供する<sup>（註）</sup>。西宮市教育委員会教育企画課が所管し、現在は西宮市立郷土資料館・西宮市情報公開課・西宮市立図書館が保有する歴史資料のデジタルデータを公開している。

（註）「にしのみやデジタルアーカイブ」において公開しているデータの内、ダウンロード可能なコンテンツをオープンデータとして提供している。オープンデータは、「西宮市オープンデータ利用規約」に従い、商用利用を含め自由に利用することができる。なお、ダウンロードできないデータの利用については、原資料の所蔵・所管機関の利用規則等に拠る手続きが必要である。

### 1. にしのみやデジタルアーカイブの基本機能

#### （1）検索

にしのみやデジタルアーカイブに登載されたコンテンツは、ウェブサイトのトップページに設けられた5つの方法で検索できる。任意の語句を含むメタデータを横断的に検索できる「キーワード検索」、コンテンツの管理者が設定した分類によって検索できる「カテゴリー検索」、検索項目を選択し条件を組合せることでより正確に検索できる「詳細検索」、撮影場所の住所で写真資料が検索できる「住所検索」、同じく地図で検索できる「地図検索」の5つである。

多様な検索方法により、明確な目的を持たない利用者でも、関心を寄せるコンテンツにアクセスできるよう設計されている。また、検索結果を確認しながら、段階的に絞り込み条件を設定できる「絞り込み検索」機能も備えている。

## (2) 検索結果表示

前述の方法によりコンテンツを検索すると、サムネイル・タイトル・作成者・年代・解説文の冒頭が一覧表示される。表示される情報の構成は、「表示切替」のアイコンで変更することが可能である。

サムネイル表示は、縮小画像のみの一覧で、より視覚的にコンテンツを探することができる。逆に文字情報のみを表示し、資料目録作成にも利用できるのが、リスト表示である。また、中間サイズのサムネイル画像を1点ずつ表示するプレビュー表示機能も備わっており、視覚的な情報を簡易に確認することができる。

利用者は必要な情報に応じて画面表示を切替えることで、求めるコンテンツまで迅速に辿り着くことができる。

## (3) 閲覧・ダウンロード

検索を進めると、コンテンツの詳細情報表示画面に到達する。この画面には、資料1件ごとの画像データと書誌データが表示される。簿冊形態の文書類等、資料1件につき複数の画像データが付属する場合は、コンテンツをグループ化することにより、一括表示することができる。

詳細情報表示画面には、画像データのダウンロード、印刷、コンテンツの拡大表示のための、操作アイコンが設けられている。

画像データのダウンロードの方法は、「個別ダウンロード」と「一括ダウンロード」の2つから選択できる。表示中の画像データ1点のみを入手したい場合は「個別ダウンロード」を、グループ化された画像データを一括で入手したい場合は「一括ダウンロード」を利用すると便利である。

印刷アイコンを押すと、表示中の資料画像と書誌情報が、A4サイズ of 用紙1枚に納まるようレイアウトされ、印刷される。印刷物は、そのまま資料の目録カードとして利用できる。

コンテンツの拡大表示画面では、選択した画像をオリジナルサイズまで拡大して閲覧することができる。展覧会でも間近に見ることができない巨大な絵図や脆弱な資料を、手に取るように観察することができる機能であり、デジタルアーカイブの本領発揮のしどころである。したがって、利用者の満足度を高めるためには、高精度のデジタル画像を提供することが肝要であるが、コンテンツによって画像の精度に差があるのが現状である。

なお、写真の画像データには、撮影場所に関する地理情報が紐づけされている。その情報は、撮影地点（緯度・経度）と撮影方向からなり、地図上に表示される。この機能には、西宮市情報システム課が所管する、西宮市地理情報システムが応用されている。

## 2. にしのみやデジタルアーカイブによる収蔵資料の公開

西宮市立郷土資料館では、にしのみやデジタルアーカイブを利用した収蔵資料の公開を進めている。平成30年1月30日までに、収蔵資料135点分のデジタルデータを公開した（表1）。その内訳は、古文書90点（画像ファイル数10,226点）、絵図17点（同64点）、ポスター28点（同28点）である（表2）。

公開する収蔵資料は、オープンデータとして提供できることを条件として選定した。その中で、特に公開の要請がある指定文化財、閲覧・撮影・デジタルデータ提供等の特別利用の頻度が高い資料を、優先的に公開している。

なお、西宮市指定重要有形文化財の岡本家文書は、所有者から西宮市立郷土資料館に寄託されている資料である。そのため公開にあたっては、所有者より、寄託資料のインターネット上での閲覧及び画像ファイルの自由なダウンロードを許可する承諾を得た。

### おわりに

にしのみやデジタルアーカイブが公開されて、約8ヶ月が経過した。今後は、公開データの更なる充実とともに、にしのみやデジタルアーカイブを利用した収蔵資料の活用を図っていきたい。例えば、江戸時代の絵図や近代の写真を絵解きしながらの歴史ハイキング、小学3年生の社会科単元「くらしのうつりかわり」に対応する民俗資料の公開による学校教育への利用促進、西宮市立郷土資料館の文化財調査ボランティア事業の成果報告、刊行物との連動などが考えられる。

また、他機関が保有する歴史資料の公開が進むことで、西宮市の総合的な歴史資料データベースの構築や展示事業等への活用が期待できる。

平成30年3月末からは、にしのみやデジタルアーカイブで提供しているデジタルデータを、テーマを設けてセレクトするweb展示企画も始動する。今後の動向に、ご注目いただきたい。

表1 にしのみやデジタルアーカイブで公開中の資料点数（平成30年1月30日現在）

所蔵・所管機関	2017.7.19公開	2018.1.30公開	合計	主なコンテンツの種類
西宮市立郷土資料館	91 (5,934)	44 (4,385)	135 (10,319)	古文書、絵図、ポスター
西宮市情報公開課	505 (505)	213 (213)	718 (718)	写真
西宮市立図書館	55 (55)	45 (45)	100 (100)	版本、古文書、地図
合計	651 (6,494)	302 (4,643)	953 (11,137)	

注：（ ）内に示した数値は、公開中の画像ファイル数である。

表2 西宮市立郷土資料館の公開資料一覧

資料種別	資料名	件数	画像数	資料の概要
古文書	大庄屋日記	58	5,875	尼崎藩大庄屋を勤めた岡本家当主が、寛保3年～明治10年（1743～1877）にかけて記録した日記。市指定重文「岡本家文書」。
	御用留帳	27	4,194	尼崎藩大庄屋を勤めた岡本家に伝わる公用記録。元禄5年～宝暦14年（1692～1764）までを公開中。市指定重文「岡本家文書」。
	大庄屋関係記録	3	155	尼崎藩大庄屋の公務に関する記録。市指定重文「岡本家文書」。
	豊臣氏奉行衆裁許状	1	1	天正20年（1592）に瓦林村と鳴尾村の間で起こった水論の裁許状。市指定重文。
	前田玄以書状	1	1	天正20年（1592）に起こった水論の、裁許の内容を順守させるため、瓦林村と鳴尾村の領主に宛てて発した文書。市指定重文。
	小計	90	10,266	
絵図	慶長十年撰津国絵図	1	13	慶長国絵図のひとつ。慶長10年（1605）9月付で、片桐且元による改めの記録がある。県・市指定重文。
	撰津国絵図	1	7	「慶長十年撰津国絵図」より後年に作成された、撰津国絵図。
	西宮町絵図	3	10	江戸時代に作成された、西宮市南部の町場の絵図。
	鳴尾村絵図	4	6	江戸時代に作成された、西宮市南部の村方の絵図。
	今津村絵図	1	3	江戸時代に作成された、西宮市南部の村方の絵図。
	西宮市鳥瞰図	2	16	昭和11年（1936）、昭和26年（1951）に吉田初三郎が制作した、西宮市鳥瞰図の原図。
	その他絵図	5	9	絵図の雛形、社家郷山の山論絵図等。
	小計	17	64	
ポスター	ポスター	28	28	昭和20年代までに制作された、阪神電車の中吊ポスター等。
	小計	28	28	
合計		135	10,319	

# ひょうごミュージアムフェアにおけるワークショップの出展について

山田暁（当館学芸員）

---

## はじめに

西宮市立郷土資料館（以下当館）は、平成26年度よりこのイベントに参加しており、本年度で4回目となる。平成26年度以前の会場は姫路だった。平成26年度から平成28年度は、会場を神戸ハーバーランドへ変更し、大規模な博物館関係のイベントとなった。

本稿では、ひょうごミュージアムフェアに当館が出展したワークショップについて紹介し、かつその成果について述べる。

## 1. ひょうごミュージアムフェアとは

ひょうごミュージアムフェアは、兵庫県内の博物館等の魅力を県内外に広く発信していくことを目的に行われたもので、親子向けのものづくりワークショップやパネル展示等を行うイベントである。また、参加館のPR活動を行うとともに、博物館等相互の交流と活性化を図っている。主催は、ひょうごミュージアムフェア実行委員会・兵庫県歴史文化遺産活用活性化実行委員会・兵庫県博物館協会で、兵庫県博物館協会に加盟している博物館・美術館等が参加することができる。実施内容は、ワークショップや資料等のパネル展示で、平成28年度のみ在日外国人にも日本文化を体感してもらうという趣旨で、英語版のチラシを作成し、在日外国人に対して国際交流の場を提供した。

会場は、ワークショップのブースが約30館程度立ち並んでおり、多くの来場者で賑わっていた。会場付近の小学校にチラシを配布したため、親子連れが多い。年齢層は、小学生低学年が中心であった。ワークショップとして、各館の特性に合わせた体験学習やものづくりを実施していた。なお、各年度の当館の来場者数は表1の通りである。

表1 ひょうごミュージアムフェアにおける当館の来場者数

参加年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
参加回数	1回	2回	3回	4回
来場者人数	245人	245人	137人	247人
総来場者数	6,950人	8,522人	9,303人	8,071人

## 2. 西宮市立郷土資料館のワークショップ

当館のワークショップは、表2のとおりである。

参加初年度である平成26年度は、兵庫県・西宮市指定文化財の「慶長十年撰津国絵図」のパズルとオリジナル藩札づくりを行った。オリジナル藩札は、尼崎藩の藩札に利用された名塩紙をモデルとし、事前に準備したスタンプ等を使用して、尼崎藩の藩札に模したものと自分オリジナルの藩札を作成してもらった。オリジナル藩札は、各自好きな図柄や金額を入れて作成したため、非常に好評となった（写真1）。金額欄にはそれぞれ筆で記入し、その周りの枠にスタンプを押して製作してもらった。

2年目の平成27年度、当館は江戸時代に西宮江戸間を航行した樽廻船をモデルとした双六を作成した（写真2）。双六のマスは各自好きな命令をシールで貼る。また、低学年用として西宮市内所在の文化財や風景、建物を双六のマスにして、飛び双六を作成した。

3年目の平成28年度は、高畑町遺跡で検出された奈良時代の井戸の組み方を学習してもらった（写真3）。この高畑町遺跡の井戸は市指定文化財として指定されている。来場者は、古代の井戸の組み方について井戸部材（段ボール）を考えながら組み上げた。

4年目の平成29年度は1年目のオリジナル藩札づくりを再度実施した。前回と比べて、オリジナル藩札に使用するスタンプの数を増やした（写真4）。

表2 当館のワークショップ実施内容

年度	ワークショップ	開催場所
26年度	絵図を組み立てよう オリジナル藩札をつくろう	神戸ハーバーランドスペースシアター
27年度	たるかい船すごろくをつくろう！	神戸ハーバーランドスペースシアター
28年度	立体パネルに挑戦！—積上式横板組井戸—	神戸ハーバーランドスペースシアター
29年度	名塩紙であそぼう	イオンモール姫路リバーシティー

## 3. ワークショップにおける成果

ここでは、ひょうごミュージアムフェアのワークショップを通して得た成果について述べる。成果は以下のとおりである。

- ①来場者に西宮市の高畑町遺跡から出土した井戸について知ってもらえた。特に、井戸の体験学習は、井戸部材から井戸が組み立てられるのかを考えながら古代技術を学んでもらえた。
- ②来場者のニーズを知ることができた。

## おわりに

ひょうごミュージアムフェアにおけるワークショップ出展によって様々な成果が見えてきた。今後は、当館の展示・教育普及活動の中でワークショップをどのように活かしていくかを検討していきたい。



写真1 平成26年度の様子



写真2 平成27年度の様子



写真3 平成28年度の様子



写真4 平成29年度の様子

寄贈資料一覧（平成30年2月現在、敬称略）

鳴尾村誌編纂事務委嘱状1点（奥浦益文）／甲東園住宅案内図1点（西尾嘉美）／  
戎座映画広告1点（山本康裕）

ご寄贈ありがとうございました。

目次

CONTENTS

にしのみやデジタルアーカイブ始動～インターネットによる収蔵資料公開の取組み～（笠井今日子）…1

ひょうごミュージアムフェアにおけるワークショップの出展について（山田暁）…5

寄贈資料一覧… 8

西宮市立郷土資料館ニュース第48号 平成30年（2018年）3月30日